

恐ろしい予言は、人間性向上のチャンスです。

主任司祭 フランシスコ 山口 一彦

「2025年7月5日、大津波によって日本は壊滅する。」…こんな恐ろしい予言を、皆さんは最近聞いたことがありますか。まだテレビではほんの少ししか紹介されていませんが、インターネットや書籍では2～3年前から、いろんなところで話題になっています。指定の日付まで1年を切っていますので、そのうち皆さんも耳にすることになるでしょう。その時の心の持ち方について予めお伝えしようと思ひ、今、パソコンのキーボードをたたいています。

この予言、実は情報源がいくつもあるそうです。おもなものを挙げてみます。

1. 阪神淡路大震災と東日本大震災、クイーンのパール、フレディ・マーキュリーやダイアナ妃の突然死などを、予知夢によって正確に言い当てたことで知られる元漫画家たつき諒（りょう）氏…「2025年7月5日、フィリピン沖の海がボコッと盛り上がり、大きな津波が日本を初め東南アジアの国々を襲う。」
2. ヤスエ方程式で世界的に知られる物理学者、ノートルダム清心女子大名譽教授保江邦夫博士…「アメリカ航空宇宙局（NASA）からの極秘情報として、2025年7月5日、フィリピン沖に隕石が落下するという話を聞いた。」
3. ネイティブ・アメリカン、ホピ族の予言…「2025年、ブルー・スター・カチーナ（青い星の精霊）が天空に現れ、今の世界は浄化される。」
4. 『このママにきーめた』『胎内記憶図鑑』などで知られる絵本作家斎藤のぶみ氏が、母親のお腹に宿る前の記憶を持つ何人もの子どもたちに、「どうして生まれてくる子どもが減っているのかな」と尋ねた時の子どもたちの答え…「えっ、知らないの。みんな流されちゃうからだよ。」

実はまだまだあるんですが、皆さんの不安をおおるのが本稿の目的ではありませんので、このくらいにしておきます。隕石落下が引き金となって起きる南海トラフ大地震と津波。そんな光景を思い描いてしましますが、皆さんはいかがですか。私などは「はずれてほしい」と切実に願いますし、「バカバカしい」と笑い飛ばしたい思いでいっぱいです。でも、それで良いのでしょうか。そんなふうに分をごまかしても、心のどこかでモヤモヤとした不安は残りませんか。

旧約聖書にある『ヨナ書』を、皆さんもご存じでしょう。次に少し引用します……「ヨナは主の命令どおり、直ちに二ネベに行った。二ネベは非常に大きな都で、一回りするのに三日かかった。ヨナはま

ず都に入り、一日分の距離を歩きながら叫び、そして言った。『あと四十日すれば、二ネベの都は滅びる。』すると、二ネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者も低い者も身に粗布をまとった。このことが二ネベの王に伝えられると、王は王座から立ち上がって王衣を脱ぎ捨て、粗布をまとって灰の上に座し、王と大臣たちの名によって布告を出し、二ネベに断食を命じた。…神は彼らの業、彼らが悪の道を離れたことを御覧になり、思い直され、宣告した災いをくださのをやめられた。」（ヨナ3章3～10節）…世界一の都二ネベの人たちは、神様からの預言を聞き入れ、回心して、物質的欲望の道から離れたので、災いをまぬがれたというお話です。この有名な聖書の物語から、私たちは学ばなければなりません。

私たちの人生の本質は、物質的側面ではなくて精神的側面にあります。例えば、ステージ4のガンが見つかり、「余命は1年です」と宣告されたら、皆さん、どうしますか。初めは「何かの間違いだ」と抵抗するでしょうけれど、次第に現実を受け入れ、「残された日々を、今まで以上に大切に生きよう」と思うのではないのでしょうか。毎日の生活の中で繰り返される隣人との出会いをいとおしみ、道端の小さな花の命にも感動の目を止め、それまでの自分の不徳を反省し、仲たがいでいた人には謝罪の言葉を伝えたいと思うでしょう。そのようなことをもしも実践できたならば、「余命1年」の宣告は神様からの導きだったと言えるでしょう。

2025年7月5日に関する前述の予言についても、同じように考えることはできないのでしょうか。二ネベの人たちのように、悔い改める良いチャンスではないのでしょうか。あと1年、いつ人生を終えてイエス様の前に立たされても、「お教えに従って、精一杯生きました」と胸を張って答えられるように過ごしたいものです。未来の原因は全て、今この時に存在していますから、未来の方向性はおおよそ決まっているとと言えます。でも、神様は私たち人間に「自由意志」をお与えになりました。私たちの選択によっては、未来を変えることはできるはずで。人間にはその力が与えられています。このことは、神学でも哲学でも自然科学でも、同じように語られています。パンデミック、異常気象、戦争…近年の大災害は全て、私たち人類の自由意志がもたらしたものです。この流れを変えるために、神様はいくつもの未来予言を通して、私たちに回心と呼びかけているのではないのでしょうか。